

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201110	生活学基礎講座 Introduction to Lifeology	家政学専攻全教員	専門	2	必修	1年 前期

科目の概要

生活学基礎講座は家政学専攻での入学から卒業までの4年間を学修面と大学生生活面の双方から見渡すために設定された科目である。家政学専攻の全教員がオムニバス形式で担当しガイダンスしていく。また、全学で取り組んでいる社会人基礎力とは何か、今後どのような形で社会人基礎力をつけていくかについても学修する。

学修内容	到達目標
① 大学4年間での学びと、将来に向けての社会人基礎力の必要性を理解する。	① 自分自身を客観的に見る目をもち、大学生活4年間とその後の就職までの生活設計ができる。
② 各教員の専門分野から、家政学専攻での学修内容を知る。	② 家政学専攻ではどのようなことを学ぶのか、そのために何が必要かを自分なりに考えることができる。
③ 各回の授業内容にあわせたレポート課題を作成する。	③ 各回の内容を理解し、問題点を指摘し、簡潔な言葉で表現できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	事前に提示された授業内容や配布資料をもとに、文献を調べて、自分で学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	教員からの指示に従うだけでなく、より高い目標を設定し、学修に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	授業を通して、高校までの学修と大学での学修の違いを理解し、大学4年間の学修の目標を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	複数の観点を総合しながら、大学での学修の仕方について考えることができる。
チームで働く力	発信力	学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができる。
	傾聴力	意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: 使用しない。必要な資料は各回の担当教員より配布される。

参考書: 各回の担当教員が授業内で適宜紹介していく。

他科目との関連、資格との関連

キャリア形成 I～VI 国内研修旅行

学修上の助言	受講生とのルール
担当者および授業テーマによって進行方法は異なるが、基本的にテキストを用いた講義と講義内容に関連したワークにより構成される	<ul style="list-style-type: none"> ・家政学専攻の全教員がオムニバス形式でそれぞれの専門領域と関係した講義をする。 ・毎回レポート等の課題が提示されるので、授業をよく聞き、課題に取り組んでほしい。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート	90	①	<ul style="list-style-type: none"> 各回に課された課題について書いたレポートが適切な解答となっている。 ※課題の評価基準については各回の担当教員より示される。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	<p>【主体性】事前に提示された授業内容や配布資料をもとに、文献を調べて、自分で予習ができています。</p> <p>【実行力】課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力ができています。</p> <p>【課題発見力】授業を通して、高校までの学修と大学での学修の違いを理解し、大学4年間の学修の目標を見つけることができています。</p> <p>【創造力】複数の観点を総合しながら、大学での学修の仕方について考えることができています。</p> <p>【発信力】学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができています。</p> <p>【傾聴力】意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる事ができています。</p> <p>【規律性】無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> すべての授業に積極的な態度で参加している。 各回に与えられた課題の条件をすべて満たし作成、提出できている。 <p>※科目を担当する家政学専攻の全教員が A(優)以上の評価とした場合には S(秀)と評価される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> すべての授業に出席している。 各回に与えられた課題を作成、提出できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	担当：龍田・丹羽 授業の概要説明 30秒自己紹介 大学で体験したいこと。家政学専攻で有意義に過ごし、魅力ある人になるために。学泉ノートで学ぶ社会人基礎力。	ペアワーク レクチャー グループワーク	30秒で、あなたの名前の文字を人に話せる。これから体験したいことを書き出せる。	(予習)シラバスを読み、苦手な内容にマークを付ける。 (復習)授業内で提示された課題を、期日までに提出する。	60 120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	担当：伊藤・丹羽 なぜ今、社会人基礎力が必要になってきたのか。 この4年間で身につけて欲しい社会人基礎力について	レクチャー グループワーク	大学生生活、卒業後の人生における社会人基礎力の必要性が理解できる。	(予習) (復習)授業の内容と感想をレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3週 /	担当：龍田・丹羽 30秒自己紹介 マナーについて考える 社会人基礎力シートの記入 学内回遊調査の事前説明	ペアワーク レクチャー ワークシート	30秒で、あなたの名前の文字を人に伝えられる。マナーについて、あなたの意見を隣に話せる。隣の意見を聴ける。文章で表現できる。	(予習)事前に出されている課題を行う。 (復習)授業内で提示された課題を、期日までに提出する。	60 120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4週 /	担当：龍田・丹羽 学内回遊調査：4～5名でグループとなり、キャンパス内を回遊する 図書館オリエンテーション	回遊調査 オリエンテーション	感じた事、考えた事を、常にメモできる。 図書館での資料の検索方法を知り、興味のある本を探し出せる。	(予習)事前に出されている課題を行う。 (復習)授業内で提示された課題を、期日までに提出する。	60 120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	担当：龍田・丹羽 回遊調査の報告	レクチャー グループワーク プレゼン	グループ内で、あなたが感じた事を話せる。メンバーが感じたことを聴き、場合によって自分の意見に追加できる。 全員の前で発表できる。	(予習)事前に出されている課題を行う。 (復習)授業内で提示された課題を、期日までに提出する。	60 120	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
6週 /	担当：西原 デジタルメディアとの付き合い方・使いこなし方 「メディア・リテラシー」の視点から、デジタルメディアやSNSの使い方を実践的に学ぶ。	講義 演習 (デジタルメディア利用実践)	基本的なフォーマットに沿ったメール文面を作成・送信する。 復習で作成したレポートを期日内に提出する。	(予習)「メディア・リテラシー」について情報を調べる。 (復習)授業内で学んだことをレポートとしてまとめ、期日までに提出する。	180	主体性 創造力 発信力
7週 /	担当：平岩 ファッションと健康：私たちはなぜ服を着るのか。 人の体と着心地、おしゃれを楽しむ意味を考える。		人の体は暑さ寒さにどう対応しているのかを知り、衣服の役割を考えることができる。自分の衣服選択について説明できる。	(予習)これまでの自身の衣生活を振り返り、まとめてくる。 (復習)授業内で提示された課題を期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力
8週 /	担当：森山 健康と栄養：自分の食生活を振り返り、現代人の食生活における問題点と照らし合わせ、自身の食生活の改善点を考える。	レクチャー グループワーク	身体に必要な栄養素を知り、自分には何が不足し、何が過剰に摂取しているかを気づき、文章で表現できる。	(予習)自分の食生活を書き出してくる。 (復習)授業内で提示された課題をまとめて、期日までに提出する。	180	主体性 課題発見力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	担当:龍田 国内研修旅行 事前指導 この授業の目標を確認する。研修先を確認し、その内容や学べることを調査する。研修先で学びたいことなど、あなたのこの授業の目標を立てる。	レクチャー ワーク	研修先について調査したこと、設定したあなたのこの授業の目標を、事前レポートで報告した。	(予習) しおりをよく読み、研修先を調べる。 (復習) あなたのこの授業の目標を達成するために、何が必要なのかを考え、研修先を改めて調べる。事前レポートを作成する。	60 90	主体性 課題発見力 創造力
10週 /	担当:相原 食品と微生物:身の回りの微生物について、食品に関わるものを中心に考える。	講義	身の回りの微生物の役割を理解し、文章にして人に伝えることが出来る。	(予習)食品と微生物の関係を自分なりに調べておくこと。 (復習)授業内で学んだことをまとめ、期日までに提出する。	180	主体性 課題発見力 発信力
11週 /	担当:龍田 国内研修旅行 事後指導 あなたのこの授業の目標を、確認する。 どこで何をを行い、何を感じ、何を学んだかを整理する。目標は達成できたか、今後、どのように活かしたいか、今後、家政学専攻で何を学びたいかを考える。これらを事後レポートで表現する。口頭発表の条件を確認する。	レクチャー ワーク	どこで何をを行い、何を感じたかを整理した。目標は達成できたかを考えた。これらを事後レポートで表現し、提出した。	(予習) 事前レポートとしおりを読み返す。 研修先で行ったこと、感じたこと、分からなかったこと、学んだことを整理する。 (復習) 事後レポートを作成する。	60 120	主体性 課題発見力 創造力
12週 /	担当:龍田 (家政学専攻全教員) 国内研修旅行 口頭発表 あなたのこの授業の目標、どこで何をを行い、何を感じ、何を学んだか、目標は達成できたか、今後、どのように活かしたいか、今後、家政学専攻で何を学びたいかを、発表する。	プレゼンテーション 聴講 他者評価 自己評価	どこで何をを行い、何を感じたか、今後、どのように活かしたいかを発表した。他者の発表を聴いた。	(予習) スライドの作成や、充分なりハーサルなど、口頭発表の準備をする。 (復習) 口頭発表について、自己評価し、良かったこと、改善したいことを記録する。	180 30	主体性 創造力 課題発見力 発信力 傾聴力
13週 /	担当:山田 学び方を学ぶ 発達と学習に関する心理学の実証研究に基づき人間の変化の性質を学ぶ。それをふまえて、自分自身の大学での学びを最大限に高める方法を考える。	講義 グループ討議	心理学の研究成果に基づいて、1)人間の本质を論じられる。2)自分の「今までの学び方」と「これからの学び方」を述べられる。	(予習)大学に入るまでの自分の学び方がどのようなものであったかをまとめてくる。 復習:授業内容をふまえて、今後の大学生活における自分の学び方を述べる。	120 120	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	担当:近藤 教師に求められる資質能力 様々な教育事象を読み取り、的確な指導を行うために必要な「教育鑑識眼」に注目し、教師に求められる資質能力について考える。	講義 グループ討議	教師に必要な資質能力について、自身の被教育経験を振り返り、グループ討議を通して、具体的なイメージを表現することができる。	(予習)自身の被教育経験を振り返り、素晴らしい教師像とは何かをまとめる。 (復習)教師に求められる資質能力に対して見出した考え方を整理して記述する。	90 90	課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	担当:丹羽 インテリアの入り口 「近代住宅史最初の実例」と称されるレッド・ハウスとその背景となるアーツ&クラフツ運動について 知ることから、近代における生活改善の意味を考える。	講義	アーツ&クラフツ運動が始められた理由とその意義が理解できる。	(予習)事前に配布された資料を読み、不明な点について調べておく。 (復習)授業内で提示された課題を期日までに提出する。	60 120	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 課題発見力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力